アボメ･カラヴィ行政区、アボメ･カラヴィ郡、ベナン共和国

アイチェジ公立小学校

1 棟の建物（3 教室、事務所、倉庫） の建築

および 8 つの個室を擁する 1 棟のトイレの設置

1. 作業報告

2019 年 7 月 20 日、アイチェジの住民総会が開催されました。挨拶のあと契約を朗読し、質疑応答をおこない、住民たちにより契約に対する賛否の決定が下されました。最後に保護者会代表の推薦する建設用地を視察しました。そして翌週の月曜、7 月 22 日に再度会うことになりました。

月曜日に私たちが建設現場へ行きますと、用地はすでに準備されていました。土地が測量されるや、アイチェジの人たちはすぐさま基礎の穴掘りを開始しました。

土地のいくつかの業者から砂を買うと、あっというまに十分な砂が現場に届きました。そして鉄材やセメントもすぐに着きました。

7 月 26 日に基礎の溝に最初のコンクリートが打たれて以降、プロジェクトの進み具合はこれまで私どもが経験したすべてを超えていました。1 週間後の 8 月 2 日には、壁の高さはすでに窓枠のところまで届いていました。8 月 8 日には、もう上の鉄筋アンカーがコンクリートで固められました。

8 月 10 日には破風が据えられました。私たちの左官チームとアイチェジの人たちはこの記録的スピードを誇りに思っています。左官たちが破風の作業をしている間に、村人たちは教室に砂を入れはじめました。ちょうどこの時期にドイツから若い方々が訪問に来ていました。彼らは全員、その場で教室に砂を入れる作業を手伝いはじめました。村人たちはとても驚きました。笑ったり冗談を言いあいながら、この作業はすぐに終わりました。

校舎建設と併行して、トイレ作りが進んでいます。作業開始から１週間半でトイレの貯留槽が掘りおわり、左官がすぐにその壁作りを開始しました。

校舎の屋根ができたかと思うと、もう校舎内外の漆喰塗りが始まります。

教室の床にコンクリートが流されます。

すべて終わるとペンキ職人が来て、私たちの校舎を芸術作品に仕上げました。

トイレも楽しげな雰囲気です。

このプロジェクトについては、私たちの協会の会長でアイチェジ地区の代表でもあるアーロンソ氏のことを語らねばならないでしょう。彼は村人たちによく説明をして、しっかりと準備をしました。全員が参加して、手伝いました。これは理想的なプロジェクトです。村人たちに、大変うまく進んだ共同作業について感謝しています。

支援者のみなさま、ドイツ公益社団ヒューマネット、西アフリカ教育普及協会、そしてドイツ連邦経済協力開発省に感謝いたします。

心をこめて。
當田アストリット